

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	卓上糸のこ機 SSS-330A		※お買い上げ日	保証期間
			平成 年 月 日	1 年
※お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電話	()		
※販売店	住所名	☎ ()		

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談下さい。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

SCROLL SAW

卓上糸のこ機 SSS-330A

取扱説明書



このたびは卓上糸のこ機をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用に際しては必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは必ず保存してください。

SHINKO 株式会社 新興製作所

〒101 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「△ 注意」を必ず守って下さい。
- ご使用前に、この「△ 注意」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
- お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。

△ 注意

1. 作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
 - ・作業中、本機工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
 - ・作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、防じんマスクを着用して下さい。

2. 作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
 - ・ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
 - ・暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
 - ・可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業員以外には近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
 - ・作業場の近くに作業員以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の高い場所では使用しないで下さい。
 - ・感電の恐れがあり大変危険です。

△ 注意

3. 電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
 - ・表示を超える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認下さい。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4. 取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業して下さい。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切って下さい。
 - ・スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認下さい。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
 - ・ネジがゆるんでいたたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をして下さい。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させて下さい。
 - ・試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないで下さい。
 - ・規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないで下さい。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いて下さい。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いて下さい。
 - ・スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 注意

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出して下さい。
- ・ 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないで下さい。
- ・ 又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意して下さい。
- ・ コードが損傷しますと危険ですので直ちに交換をしてご使用下さい。
- 工具（スパナ、ネジ回し等）は、運転前に必ず本機から取り除いて下さい。
- ・ 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないで下さい。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をして下さい。
- ・ 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないで下さい。
- ・ 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないで下さい。
- ・ 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5. 手入れと保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期間安全にご使用下さい。
- ・ 使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入れをして良い切れ味でご使用下さい。
- ・ 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モートルに負荷が多くかかり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をして下さい。
- ・ 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付け下さい。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入れをしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管して下さい。

■ 部品の名称

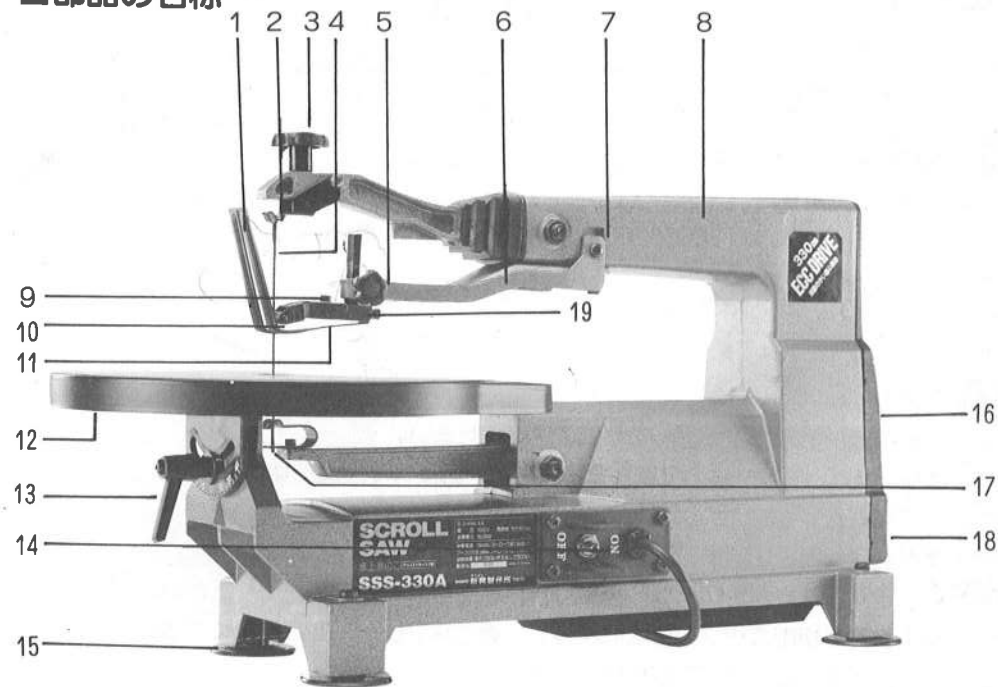


図1

No.	名 称	No.	名 称
1	ブレードの(のこ歯)ガード	11	押し付け
2	上部ブレードホルダー	12	テーブル
3	ブレード調整ツマミ	13	テーブル角度調整の締付レバー
4	ブレード(のこ歯)	14	スイッチ
5	押し付け固定ツマミ	15	ゴム脚
6	押し付けブラケット	16	後部カバー
7	押し付け固定ネジ	17	下部ブレードホルダー
8	アーム	18	フレキシブルシャフト取付ネジ穴
9	ブレードガイドの調整ネジ		
10	ブレードガイド		

■ 本体と別になっている部品の明細

部 品 名	数	部 品 名	数
テーブル	1	ブレードアダプター	2
テーブル角度調整レバー	1	六角レンチ 2.5%	1
上記用ワッシャー	1	〃 3.0%	1
ブレード(のこ歯)細目	2	ゴム脚	4
ブレード(のこ歯)荒目	2	〃 固定ネジ	4

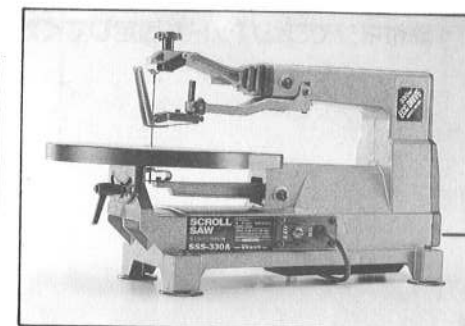


図2 フレキシブルシャフト接続ネジ

仕様明細

型式	SSS-330A	ブレード(のこ歯)長さ	127% (凸部の距離)
電源	100V	テーブルの寸法	直径 254%
周波数	50/60Hz	テーブル傾斜	左右 各0~45°
消費電力	103/110W	本機の寸法	535×254×290%
電流	1.1/1.2 A	重量	6.5 kg
ストローク数	1100/1260回/分	切削の板厚(最大)	28% (木板で押し付け付)
ストローク(上、下)	10%		50% (" なし)
フトコロ寸法	330%		

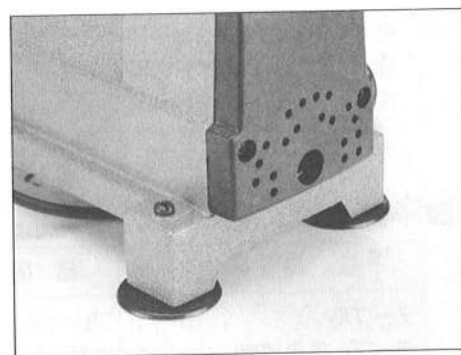
使用上のご注意

- ご使用前に取扱説明書をよく読んでからご使用ください。
- 整理、点検、修理、ブレードの交換をするときは、必ずスイッチを切って電源プラグを、電源から抜いてください。
- 本機の使用前に、取扱説明書の説明にしたがって正確に組立と調整をしてください。
- 使用するときは、材料押さえとブレードガードを必ず取付けてご使用ください。
- 切削材料の材質と切削カーブの形状によって、適切なブレードをご使用ください。
- ブレードの刃先は下に向けてお取付けください。
- ブレードの張力は常に正確に調整してください。正確にセットしないとブレードは破損する恐れがあります。
- 切削材はテーブル上に確実に押しつけて作業をしてください。
- 切削材の送りスピードは無理にならないように注意してください。速すぎるスピードは、ブレード折損につながります。
- かたい材料、ねばりのある材料、厚い材料等を切断するときは、ブレード、材料の切断部に口一、又はオイルをつけますとスムーズに切断できます。
- ブレード運転中は、レイアウト、組立、段取作業を絶対にしないでください。
- 湿った場所、ぬれた場所、水の入りやすい場所では使用しないでください。

組立方法

脚ゴムの取付方法

- 脚ゴムパッドは吸着式カップです。
- 機械ベースの四角にある穴にゴムパッドを差し込んでください。
- 締付ネジでゴムパッドを固定してください。



ゴム脚 本体ベース 図3

テーブルの組立方法 (図4、5を参照)

- テーブルを手で持って、後部のピン穴を機械本体にあるピンに合わせて差し込んでください。
- 同時にテーブルの下部にあるピンを、機械本体の前部にあるピン穴に差し込んでください。
- テーブル角度調整の締付レバーと、ワッシャーを取付けて締めつけてください。
- テーブルの下の目盛りを0に合せますと、テーブルは水平になります。左右の傾斜は45°まで調整できます。

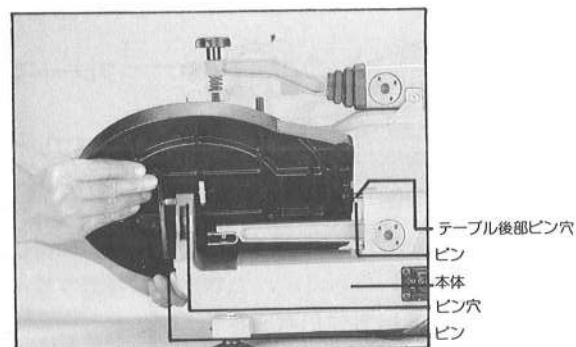


図4

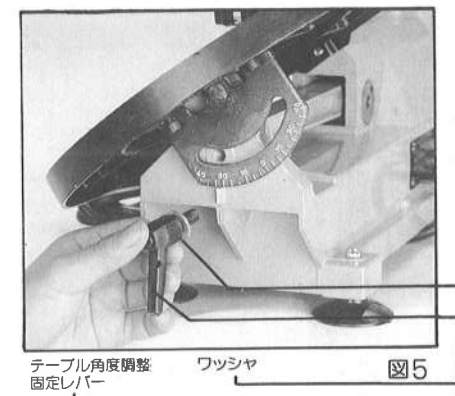


図5

本機専用ブレード (ピン付のこ歯) の取付方法 (図6参照)

- ①ブレード張力調整ツマミをゆるめてください。
- ②ブレードの刃先を下に向け、テーブル中央の溝に差し込み、ブレードの下部のピンをブレード取付溝に引掛け、そして上部のピンを上部ブレード取付溝に引掛けてください。
- ③ブレード張力調整ツマミを回して適当な張力に調整してください。

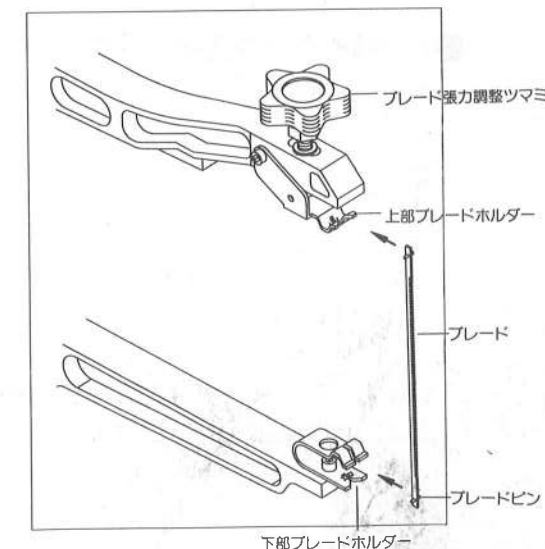


図6

■市販のブレード（ピンなし）の取付方法（図7参照）

- ①ブレードアダプターが部品袋の中に入っています。
- ②アダプターの左右についているうめ込みネジを六角レンチ（2.5mm）でゆるめて、ブレードを差し込み締めつけて下さい（上、下同じ）。
- ③ブレード張力調整ツマミをゆるめ、下部アダプター取付溝にアダプターを引掛けてから上部のアダプターを引掛けて下さい。
- ④ブレード張力調整ツマミを回して張力を調整して下さい。

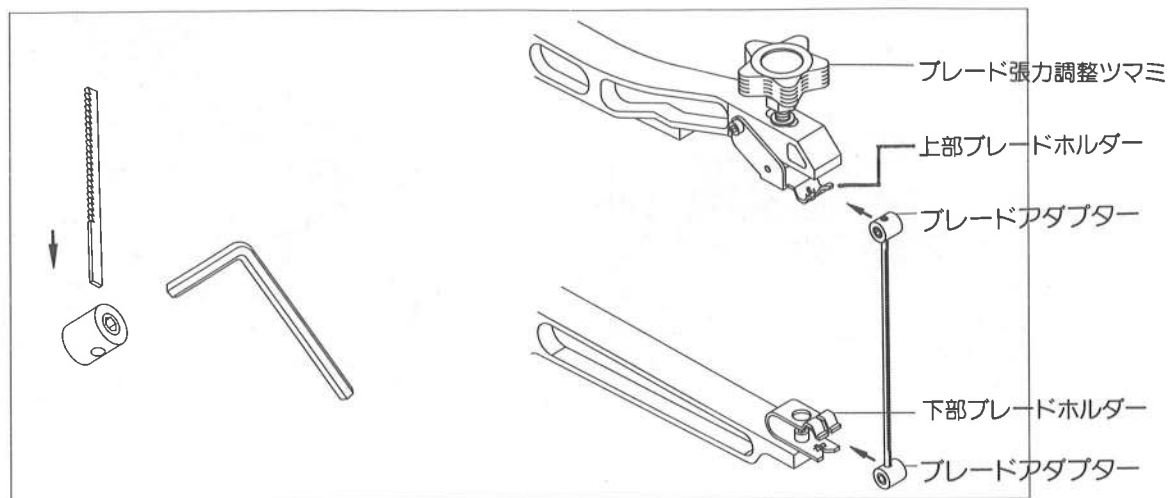


図7

■使用時のご注意とお願い

- モーターが回転しているのに、ブレードが上下作動をしない場合は、本体後部のカバーを取りはずし、ベルトをご確認下さい。万ーベルトがはずれている場合は、上部のプリーにベルトをかけ、下部プリーにもかけて下さい。

■材料押さえとブレードガイドの調整（図8参照）

- 材料押しつけの調整ネジをゆるめ、材料押さえが材料の上に置いて自由に動く高さにしてネジを締めつけて下さい。
- ブレードガイドの調整ネジをゆるめ、ガイドのローラーがブレードに軽く接触するように調整をして締めつけて下さい。

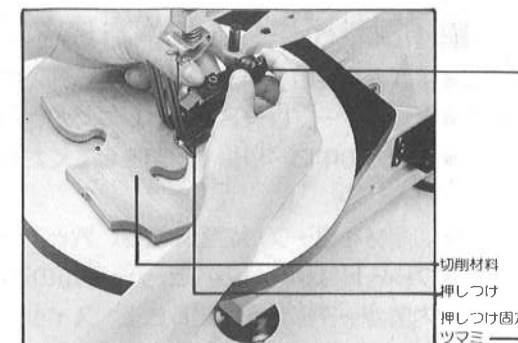


図8

■テーブル角度の調整方法（図9参照）

- この糸のこのテーブルは、最大左右とも45°の傾斜角度で調整できます。
- 傾斜角度調整は次の手順とおりです。
- (1)押し付けブラケットを取り外して下さい。
 - (2)テーブル下の角度調整締付レバーをゆるめてください。
 - (3)テーブルを手で希望の角度に傾斜させてください。
 - (4)角度値は目盛りが付いていますから、その目盛りに合わせて調整してください。
 - (5)角度調整締付レバーでテーブルを固定してください。

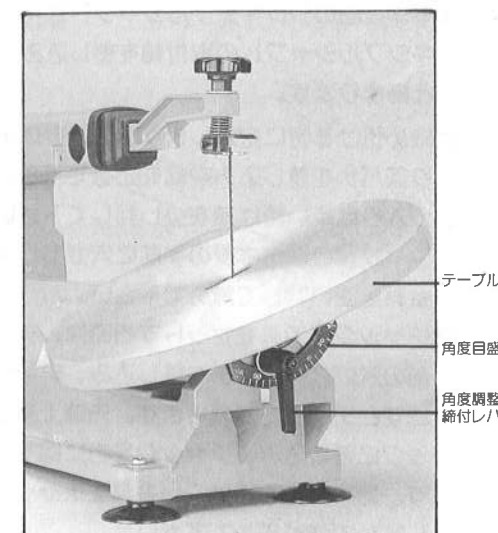


図9

■基本的な切削方法

- (1)糸ノコの切削作業はブレードの上下ストロークだけで切削します。
- (2)ソーブレードに向けて小さい圧力で、スムーズに送り込んで切削してください。
- (3)切削材の厚さは、25%以下のとき一番良い切削効果が得られます。
- (4)テーブルを傾斜したときの切削、また切削材の厚みが25%を越えるときの切削は、まず押しつけ装置を取り外します。このときの切削は手で切削材を確実に押さえることが必要です。又、ゆっくり送り込んで切削してください。ブレードの曲がりやネジレを避けてください。手と指の位置もブレードからの安全距離を保って作業してください。

■インサイドのカット方法

- インサイドカットするとき外から内部に切削することをしないで、切削ができます。
- まず、ソーブレードを取外してください。
- 切削物の中にドリルで穴明をしてください。穴径はブレードが容易に入るように取ってください。
- 切削材をテーブルの上に置き、穴とテーブル中央の溝とを合わせてください。
- ブレードは切削材の穴と、テーブルの溝に挿入して、ブレードホルダーに取り付けてください。
- 内部カーブ形状を切削した後、スイッチを切って、ブレードを取り外してから、切削物をテーブルから取ってください。最後にブレードを取り付けてください。

■本機専用フレキシブルシャフトの取付方法（別売）（図10参照）

(1)本体後面のフレキシブルシャフト取付穴に、フレキシブルシャフトの取付軸を差し込み、右に回すと締まります。

注締め付ける時に空転しますので、本体後面下部よりスパナを差し込み空転を止めて下さい。(スパナが入りにくい時は軸を少し回して下さい)
シャフトの取付ネジの手前に穴がありますので？
金具を使い回して締めして下さい。

(2)チャックに工具をセットする時は、チャックの手前の穴に六角レンチを差し込み、チャックを左に回すとチャックが開きます。先端工具の軸をチャックに差し込み、チャックを右に回すと締まります。締め付ける時は？
金具をチャックの穴に差し込んで強く締めして下さい。

注フレキシブルシャフトに先端工具をセットして使用する時は、無理な作業(回転速度が低下)はしないで下さい。無理な作業をしますと、本機やシャフトの破損につながります。

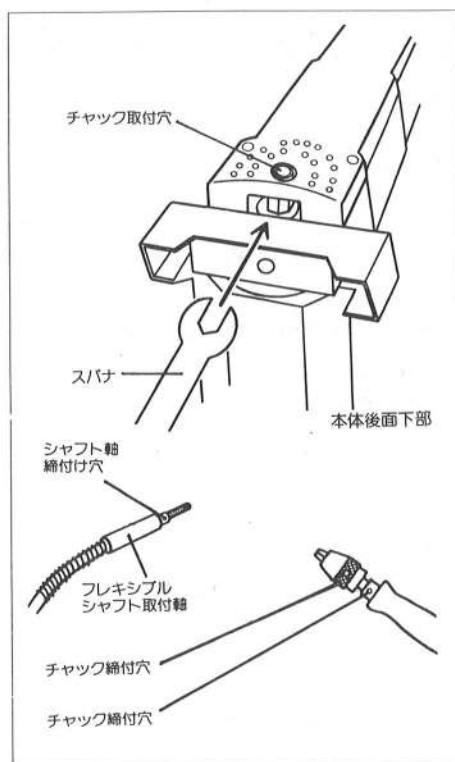


図10

■市販のフレキシブルシャフトを接続するときは、本機専用の接続チャックをご使用下さい（図11参照、チャック別売）

(1)接続チャックを本機に接続するときは、本体後面の取付穴にチャックの取付軸を差し込み、右に回すと締まります。

注接続の時に空転しますので、本体後面下部よりスパナを差し込み、空転を止めて下さい。(スパナが入りにくい時は、軸を少し回して下さい)
チャックの接続ネジの手前に穴がありますので？
金具を使い、回して締め付けて下さい。

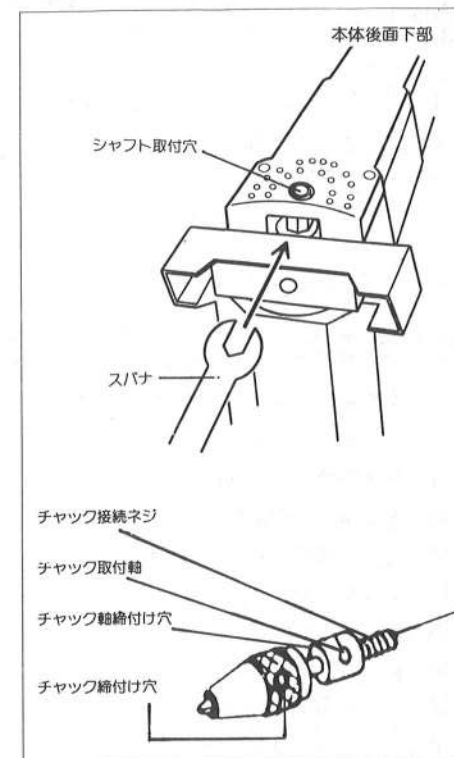


図11

■部品の明細

部品番号	品名	部品番号	品名
1	ストッパー(中にフレキ取付穴)	33	ソーブレード
2	⊕ネジ(丸)	34	本体下部カバー
3	後部カバー	35	⊕ネジ(丸)
4	タイミングベルト	36	スイッチ
5	ナット	37	本体
6	歯付座金	38	閉端子
7	モーター用固定ブラケット	39	コンデンサー
8	モーターベルト車	40	電源コード
9	止めネジ	41	スイッチブラケット
10	モーター	42	⊕ネジ(丸)
11	六角穴付ボルト	43	スイッチ固定ナット
12	偏心ベルト車	44	アームガード
13	接地用ネジ	45	ナット
14	軸受	46	ネジ
15	鋼ボール	47	⊕ネジ(丸)
16	ピン継手	48	六角ヘッドボルト
17	下部接続レバー	49	脚ゴムパット
18	六角穴付ボルト	50	押し付け棒
19	ガイドブロック	51	ガード
20	コンロッド	52	平ワッシャー
21	上部接続レバー	53	六角穴付ボルト
22	六角穴付ボルト	54	止めネジ
23	スプリングピン	55	六角穴付ボルト
24	固定つまみ	56	⊕ネジ(丸)
25	平ワッシャー	57	ブラケット
26	平ワッシャー	58	六角穴付ボルト
27	バネ	59	固定つまみ
28	固定ネジ	60	テーブル
29	ナット	61	目盛り板
30	上部ブレードホルダー	62	平ワッシャー
31	六角穴付ボルト	63	固定レバー
32	下部ブレードホルダー	64	ブレード案内(ガイド)

■部品分解図

